

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D3K2-E			D4K2-E		
		仕様		XL	LGP	SSLGP	XL	LGP	
		適用号機		KF200001～	KL200001～	JPJ00001～	KM200001～	KR200001～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2200 950 — (70～80) (80～90)	2200 950 — (70～80) (80～90)	2200 950 — (70～80) (80～90)	2200 950 — (70～80) (80～90)	2200 950 — (70～80) (80～90)	
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kgf/cm ² KPa (℃) (rpm)	2.9～ 280～ (60～70) (2200)	2.9～ 280～ (60～70) (2200)	2.9～ 280～ (60～70) (2200)	2.9～ 280～ (60～70) (2200)	2.9～ 280～ (60～70) (2200)	
		弁隙間 吸気弁隙間 排気弁隙間 [測定条件]	mm mm mm []	0 0 0 [冷時]	0 0 0 [冷時]	0 0 0 [冷時]	0 0 0 [冷時]	0 0 0 [冷時]	
		気筒間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	kgf/cm ² KPa (℃) (rpm)	3.6 350 (—) 250	3.6 350 (—) 250	3.6 350 (—) 250	3.6 350 (—) 250	3.6 350 (—) 250	
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² KPa	設定なし (コモレータ)	設定なし (コモレータ)	設定なし (コモレータ)	設定なし (コモレータ)	設定なし (コモレータ)	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)	mm kg N	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	設定なし (自動張り 調整)	
	動力伝達装置	クラッチ又は インチング ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm					
		走行クラッチ・トランスミッション油圧	主クラッチ型	プースタ油圧又は クラッチシリンダー油圧	kg/cm ² KPa				
			流体継ぎ 手型	トルコン油圧	kg/cm ² KPa				
				ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa				
			クラッチ油圧	kg/cm ² KPa					
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)						
プロベラ シャフト		ボルト締付けトルク	kgf N・m						
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm						
		ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² KPa (℃) (rpm)						

[illegible]

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D3K2-E			D4K2-E	
		仕様		XL	LGP	SSLGP	XL	LGP
		適用号機		KF200001～	KL200001～	JPJ00001～	KM200001～	KR200001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
		張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
		履板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	kg・m N・m	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5 以上					
作業装置	シリンダー 自然伸縮	ブ ル ・ ドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5 分 地面から 254mm	17mm/5 分 地面から 254mm	17mm/5 分 地面から 254mm	17mm/5 分 地面から 254mm
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5 分 チルト左一杯	33mm/5 分 チルト左一杯	33mm/5 分 チルト左一杯	33mm/5 分 チルト左一杯
			リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5 分 地面から 254mm	6mm/5 分 地面から 254mm	6mm/5 分 地面から 254mm	6mm/5 分 地面から 254mm
			リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分	—mm/分
	ドーザー・ ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分					
		バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—
	(作動油温)			(℃)				
	作業	ブ ル ・ ドーザー	ブレード上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大
			リッパースhift(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大
	機速 度	ドーザー・ ショベル	リフトアームシリンダー上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒				
			バケットチルトバック(又はダンピング) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒				
(作動油温)			(℃)					
油圧装置	油 圧 回 路 設 定 圧 力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² MPa (℃)	210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)	

D5K2-E								
XL	LGP							
KW200001～	RRE00001～							
検査基準値								
—	—							
図 2 参照	図 2 参照							
—	—							
9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgm で 120±5° 増し締め							
—	—							
17mm/5 分 地面から 254mm 33mm/5 分 チルト左一杯	17mm/5 分 地面から 254mm 33mm/5 分 チルト左一杯							
6mm/5 分 地面から 254mm —mm/分	6mm/5 分 地面から 254mm —mm/分							
—	—							
2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大							
1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大							
210±9 20.6±0.9 (38～65)	210±9 20.6±0.9 (38～65)							

キャタピラー

項 目	測 定 方 法
	図 2. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 履帯調整方法 1. 車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せず^aに惰力走行で停止させる。 2. バルブ・カバーを取外す。(図は開けた状態) 3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ (1) からマルチパーパス・グリース (MPGM) を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ (2) を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ (1) を 1 回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ (2) を閉めてください。 5. バルブ・カバーを閉じる。 6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。 